

DVの被害や加害、子どもへの対応について悩むときは、  
専門機関に相談してください。



#### 京都府家庭支援総合センター

●DV・女性相談専用 TEL : 075-531-9910

毎日 9:00~20:00

●家庭問題に関する総合的な相談専用 TEL : 075-531-9600

月~金曜日 8:30~17:15 (祝日・年末年始を除く)

#### 京都府南部家庭支援センター

●DV・女性相談専用 TEL : 0774-43-9911

月~金曜日 9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

#### 京都府北部家庭支援センター

●DV・女性相談専用 TEL : 0773-22-9911

月~金曜日 9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

#### 京都市DV相談支援センター

●DV相談専用(女性被害者) TEL : 075-874-4971

月~土曜日 9:00~17:15 (祝日・年末年始を除く)

★受付時間外の緊急時は緊急ホットライン TEL : 075-874-7051

#### 男性のためのDV電話相談

●DV相談専用 TEL : 075-277-1326

第2・4火曜日 19:00~20:30 (祝日・年末年始を除く)

#### 京都府警察総合相談室(京都府警察本部)

#9110 または TEL : 075-414-0110

月~金曜日 9:00~17:45 (祝日・年末年始を除く)

★緊急時・危険を感じたら迷わず110番

※他にも、お住まいの市町村などお近くの相談窓口を案内する電話番号案内サービスがあります。

全国統一ダイヤル #8008 (はれれば)

児童相談所の  
情報はこちら▼



問い合わせ先

京都府男女共同参画課

TEL 075-414-4291 FAX 075-414-4293

e-mail danjokyodo@pref.kyoto.lg.jp

京都府

子どもたちの/

シ ア ワ セ な

未来のために



**ドメスティック・バイオレンス(DV)**とは、夫婦や恋人など親しいパートナー間で行われる暴力のことです。夫婦や恋人の間でも、相手の体や心を傷つける暴力は、**けんかの延長ではなく、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害にあたります。**

大切な子どもたちが、DVの加害者にも被害者にもならないようにするためには、DVへの正しい理解と「暴力をふるってはいけない」という、小さなころからの意識づくりが大切です。

そして、子どもたちが暴力に巻き込まれた時のSOSを見逃さないために、子どもを取り巻く暴力への正しい知識とDV防止について学びましょう。



# 人と人とのよりよい関係 ～どんな理由があっても「暴力」をふるってはいけません。傷つけられていい人はいません～



## DVの特徴や影響

### ●暴力に気づきにくい

家庭内で起こるため潜在化しやすく、周囲が気づかないうちに暴力がエスカレートしやすいという特徴があります。

夫婦間のことだからと加害者の罪の意識が薄い傾向があります。

### ●DVを受けると

被害が長期にわたると、絶望感や無力感に陥り、生きる自信や意欲を失いがちになります。

※被害者は女性に限りません。

### ～さまざまな暴力～

- からだへの暴力**
  - 殴る・たたく・ける ●髪を引っ張る ●縛るなどして自由をうばう ●ものを投げつけるなど
- ところへの暴力**
  - 脅す・大声でどなる ●無視する ●行動を監視・制限する ●交友関係を監視・チェックする ●スマホをチェックする ●バカにしたり、命令口調でものを言う など
- 性的な暴力**
  - 相手が嫌がるのに体をさわる、キスをする ●性的な行為を強要する ●下着姿や裸の画像・動画を撮る、送信する ●中絶を強要する ●避妊に協力しない など
- 経済的な暴力**
  - 借りたお金を返さない ●生活費を渡さない ●デート代をすべて払わせる ●仕事を制限するなど
- 子どもを利用した暴力**
  - 子どもの前で暴力をふるったり、非難・中傷する ●子どもへの暴力をほのめかす ●子どもを危険な目にあわせる など



気づかぬうちに被害者になっていませんか？  
気づかぬうちに加害者になっていませんか？



## DVは子どもの心を壊すもの

面前DVとは、子どもの前でDVが行われることで、子どもへの心理的虐待にあたります。暴力を目撃したことが、子どものところやからだに様々な影響を与えるといわれています。

また、暴力を目撃しながら育った子どもは、自分が育った家庭での人間関係のパターンから、感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを学習することもあります。

DVは子どもの成長にとって大切な安全・安心を根底から壊してしまいます。

空想世界への  
逃避

常に緊張を強いられ、  
安全感や安心感が  
育たない

他者を  
信頼できない

自分がDVの原因だと思う  
罪悪感やDVをとめられない  
無力感を感じる

暴力で問題解決  
しようとする

(内閣府男女共同参画局ホームページの掲載内容を引用)

## デートDVってなに？

デートDVは、交際関係にあるカップル間で起こる暴力のことです。

「愛しているなら、相手が自分の思いどおりになるのが当然」と考え、コントロールしようとする態度や行動のことをいいます。殴る、蹴るだけが暴力ではありません。どの暴力もここところからだを傷つけます。

幼児の保護者であるみなさんは、「恋愛なんてまだ先のはなし」と思われるかもしれませんが。

しかし、男女交際は低年齢化しています。そして、暴力をなくすためには、どんな理由があっても暴力をふるうことはいけないこと、暴力では何も解決できないことを幼少期から伝えていくことが大切です。

互いを尊重し、暴力を許さず、  
いのちを大切にす意識の醸成が必要です。



## プライベートゾーンのはなし

幼い子どもを狙った性被害が発生しています。子どもたちを、性被害から守るため、性教育の第一歩でもある「プライベートゾーン」についてお話してみてください。

水着でかくれる部分はからだの大切な場所です。**他人に見せない、触らせない、もし触られたら大人にいう、お友達のプライベートゾーンには触ってはいけないこと**を繰り返し伝えましょう。



プライベートゾーンを知ることは、  
自分で自分の身を守ることに繋がります。

